

# 旭川

Asahikawa

平成 10 年 4 月 10 日策定

地区面積 = 10ha

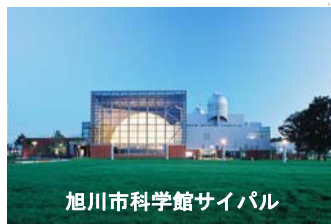
## 都市機能と自然空間が融合するまちづくり

### 基本方針

- ・北の自然環境と生活文化が融合した地区の創造
- ・市民の交流の場の創出
- ・訪れる人や働く人々がくつろぎ憩える都市空間の創出

旭川駅周辺地区は、自然とまちが調和する緑豊かな新しい旭川の顔として「北彩都あさひかわ」と名付けられ、旭川駅駅舎整備、駅前広場整備、鉄道高架化、土地区画整理、忠別川における新橋整備などが一体的に行われています。

北彩都あさひかわの東側に位置する旭川シビックコア地区は、北海道の拠点都市として行政機能の集積を高め、その利便性と魅力による関連サービス産業の立地誘導、新しい商業業務と生活文化産業の拠点の創造、さらに隣接する豊かな自然と融合する新しい複合業務拠点地区の形成を図り、都市部の活性化をめざしています。



### 活用事例の紹介

中央広場では、子どもの遊び場や休憩、ランニングなど市民の憩いの場としての利用形態が広がりつつあり、地区内の複数の施設が連携したイベントも毎年開催されています。さらに平成 24 年より、クロスカントリースキー・歩くスキーの日本最大級の大会「パーサーロペット・ジャパン」における、歩くスキーのスタート・ゴール地点会場となり、年間を通して大いに賑わいが創出されています。

